

まちづくり推進課長の仕事宣言！

まちづくり推進課長 藤川 博一

①重点施策項目名	鳥栖駅周辺の利便性向上を図ります
②目標値	鳥栖駅利用者数 〔平成29年度末〕14,000人 〔後期基本計画期間〕平成32年度末 14,500人
③今年度の取組方針	本年度は、下記3つの基本設計業務を進めていきます。 ①新駅舎・新自由通路基本設計（工期：11月末） ②駅前広場・駐車場基本設計及び全体デザイン（工期：11月末） ③道路・交差点基本設計（工期：6月末） また、①の関連業務として鳥栖駅周辺の地質調査を9月末までに完了します。
④今年度の取組結果	3つの基本設計業務について、基本設計の部分については概ね完了し、概算事業費の算出まで行うことができたが、平成30年12月3日に、橋上駅と新自由通路による整備計画の断念に伴い、広く市民に公表することはできませんでした。また、基本設計後に予定していた都市計画決定 変更関連業務や都市再生整備計画策定等の業務も取り止めとしました。
⑤数値目標の結果	鳥栖駅乗車人員 7,145 人/日（平成 29 年度） ※降車人員は非公表
⑥成果と課題（次年度に向けて）	財政的な理由により橋上駅と新自由通路による整備計画は断念に至りました。

◇所管部長の指示

- ・鳥栖駅周辺のまちづくりについては、実現可能な方策を模索すること。

まちづくり推進課長の仕事宣言！

まちづくり推進課長 藤川 博一

①重点施策項目名	秩序ある市街地の形成と土地利用の円滑化を図ります ○都市計画マスタープランの策定
②目標値	—
③今年度の取組方針	<p>平成29年度から平成31年までの3年間で、都市計画マスタープランを策定しています。これは、長期的な視点から都市の将来像を定め、土地利用や道路・交通体系、その他都市施設等に関する基本的な方針を示すものです。</p> <p>昨年度、市民の皆様のご協力をいただいたアンケート調査等をもとに、課題の整理を行いましたので、これらを検討材料に、本年度は全体構想・地区別構想の素案を作成します。</p> <p>また、地区別構想は、各小学校校区単位での策定を考えておりますが、その際は、地区住民の皆様のご意見やお考えをお伺いするために地区別のワークショップを開催いたします。(10月・12月予定)</p>
④今年度の取組結果	<p>全体構想(素案)は、平成30年9月に都市計画審議会に提示しました。続いて10月・12月に市内8小学校区ごとのワークショップを開催しました。地域にお住まいの方々から、地域の魅力や課題、まちづくりの方向性、さらに具体的な取り組み案等のご意見や考え方等をいただき、地域別構想(素案)についても年度内に整理できる見込みです。</p>
⑤数値目標の結果	—
⑥成果と課題(次年度に向けて)	<p>今年度の取組については、概ね予定通り進捗しましたが、鳥栖駅周辺整備事業の断念を踏まえ、現在作成している素案の時点修正の必要があります。都市計画審議会などからのご意見等を踏まえ、慎重に調整していきます。</p>

◇所管部長の指示

- ・都市計画マスタープランの策定に向け、情報発信に努めながら慎重に推進すること。